

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
平成29年10月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕10月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス24 ～前月比8ポイントの悪化～
- ◆ 2週連続の週末の天候不順(台風)が、小売・サービス業に悪影響

〔Ⅱ〕10月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転1、悪化25で、D I 値はマイナス24となり、前月のD I 値マイナス16に対し、8ポイントの悪化となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス14となり、前月比±0の横ばい、非製造業のD I 値はマイナス35となり、前月比17ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、可児工業団地の1業種(前月比-1業種)。

また、「悪化」と回答した業種は18業種(前月比+5業種)となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス20で前月比1ポイントの悪化、販売価格D I 値はマイナス11で前月比7ポイントの悪化、収益状況D I 値はマイナス24で前月比1ポイントの改善、資金繰りD I 値はマイナス10で前月比4ポイントの悪化、雇用人員D I 値はマイナス9で前月比6ポイントの悪化となり、収益状況D I 値のみ改善、その他の調査項目がいずれも悪化という結果となった。特に、非製造業では、景況感D I 値はマイナス35で前月比17ポイントの悪化となった。

コメントを見ると、製造業では、「可児工業団地全体の景況感は昨年8月より好調が続く。今回も9項目すべてがプラスの指標。(可児工業団地)」、「株価の上昇とともになのか、10月頃から各業種とも上昇機運が高まってきている。自動車関連は横ばいなのに対してその他の産業は好調のようである。(メッキ)」など、プラスの内容が報告された一方で、「急な冷え込みや、夏を思わせる気候などの天候要因が商況を盛り上げず。(婦人子供服)」など、マイナスの内容も報告された。

非製造業では、「売上高は、前年同月に比べ増加となっている(+14.3%)。国(+13.9%)、県(-0.3%)、市町(+4.0%)等と請負額の増減があり、国の増加により全体を押し上げて前年同月比増加となっている。(土木(岐阜地区))」など、プラスの内容が報告された一方で、「10月にしては珍しい台風が2日、更に週末という最悪の事態となり、県外からの旅行者のキャンセルが相次ぎ、組合員の在庫のたぶつきと売上の低下につながった。(水産物)」、「天候不順、2週連続の土曜・日曜日の台風、秋の長雨等の理由により、実質営業日の減少に伴い減収減益。過去にない10月の実数となった。(商店街(大垣))」など、台風など天候要因による悪影響を受けたとするマイナスの内容が多く報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加17、減少37でDI値はマイナス20となり、前月のマイナス19に対し、1ポイントの悪化となった。

売上高が増加した業種は12業種（前月比+3業種）あり、食肉（国産）、プラスチック、砕石生産、鋳物、メッキ、可児工業団地、電設資材卸、機械・工具販売、石油製品販売、土木（岐阜地区）、電気工事、木造建築である。

売上が減少した業種は26業種（前月比+4業種）あり、特に木材・木製品、窯業・土石、小売業、商店街の区分で多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇7、低下18でDI値はマイナス11となり、前月のマイナス4に対し、7ポイントの悪化となった。

販売価格が上昇した業種は5業種（前月比-2業種）あり、牛乳、可児工業団地、水産物商業、石油製品販売、貨物運送（県域）である。

販売価格が低下した業種は13業種（前月比+3業種）となった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転7、悪化31でDI値はマイナス24となり、前月のマイナス25に対し、1ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は5業種（前月比+1業種）あり、メッキ、可児工業団地、機械・工具販売、下呂温泉旅館、木造建築である。

収益状況が悪化した業種は22業種（前月比+1業種）あり、特に木材・木製品、商店街の区分で多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転1、悪化11でDI値はマイナス10となり、前月のマイナス6に対し、4ポイントの悪化となった。

資金繰りが好転した業種は1業種（前月比±0業種）あり、可児工業団地である。

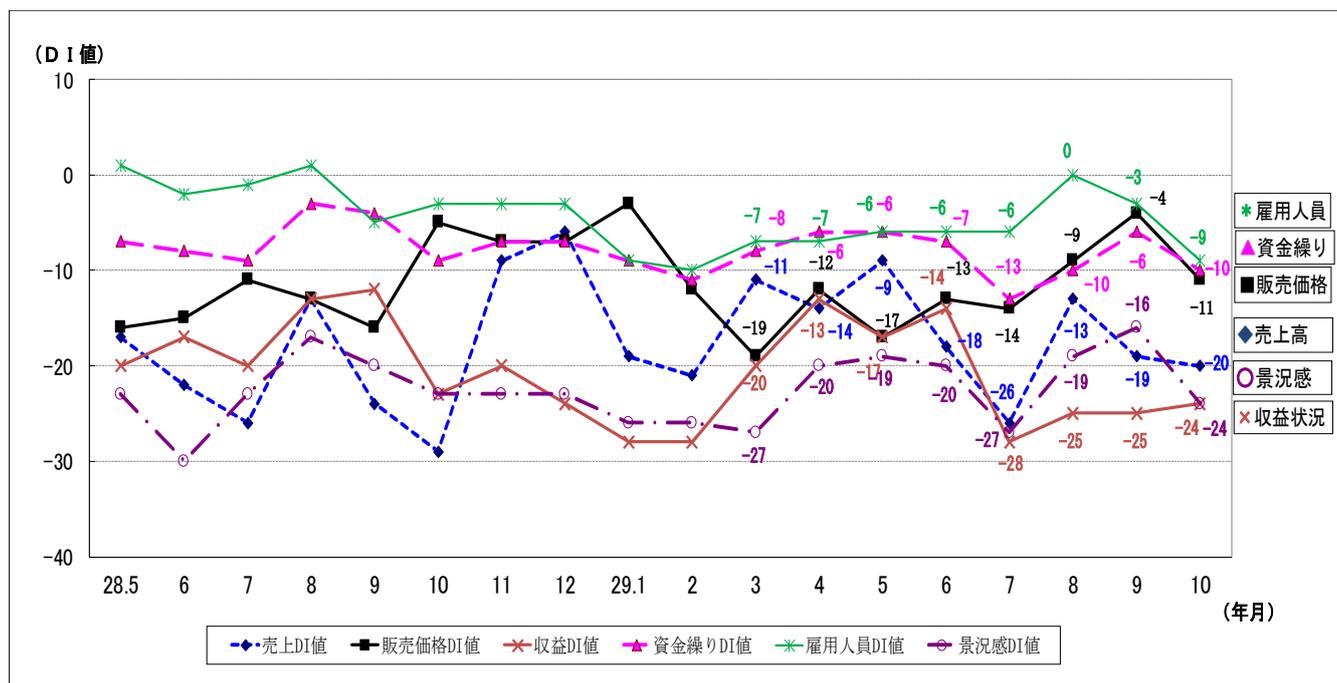
資金繰りが悪化した業種は8業種（前月比+3業種）となった。

雇用人員の動向は、前年同月比で増加1、減少10でDI値はマイナス9となり、前月のマイナス3に対し、6ポイントの悪化となった。

雇用人員が増加した業種は1業種（前月比-3業種）あり、可児工業団地である。

雇用人員が減少した業種は7業種（前月比+1業種）となった。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (10月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	○	△	△	△	△
	食肉(国産)	○	△	▲	△	▲	▲
	菓子	△	△	△	△	△	△
	米菓	△	△	△	△	△	△
	製麺	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	撚糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業	▲	▲	▲	△	△	△
	毛織物	△	△	△	△	△	△
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	▲	△	△	△	△	△
	婦人・子供服	△	▲	▲	△	△	▲
	縫製(既製服)	▲	△	▲	▲	△	△
木材・木製品	製材	△	△	▲	△	△	△
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△
	家具	△	△	△	▲	▲	▲
	東濃ひのき	▲	△	▲	△	△	▲
紙・紙加工品	機械すき和紙	△	△	△	△	△	△
	特殊紙	▲	△	△	△	△	△
	紙加工品	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	△	△	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック	○	△	△	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	△	▲	△	△	△
	タイル	▲	▲	△	△	△	△
	窯業原料	▲	△	▲	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
	砂利生産	▲	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産	○	△	△	△	△	△
	鋳物	○	△	△	△	▲	△
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ	○	△	○	△	△	△
	県金属工業団地	△	△	△	△	△	△
	可児工業団地	○	○	○	○	○	○
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	▲	△	▲	△	△	△

凡例	○ ⇒	[増加]、[上昇]、[好転]
	△ ⇒	[不変]
	▲ ⇒	[減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	○	△	△	△	△	△
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	▲	△	▲
	機械・工具販売	○	▲	○	△	△	△
小売業	青果販売	▲	▲	▲	△	△	▲
	水産物商業	▲	○	▲	△	△	▲
	家電機器販売	△	△	△	△	△	△
	メガネ販売	▲	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	▲	△	△	▲	△
	石油製品販売	○	○	△	△	△	△
	共同店舗(飛騨)	▲	△	△	△	△	△
	生花販売	▲	▲	▲	▲	△	▲
商店街	商店街(岐阜)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	商店街(大垣)	▲	△	▲	△	△	▲
	商店街(高山)	▲	△	▲	△	△	▲
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲
	長良川畔旅館	△	△	△	△	△	△
	下呂温泉旅館	△	△	○	△	△	△
	高山旅館	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	△	△	△	△	△	▲
	広告美術	△	▲	▲	△	△	△
	旅行業	△	▲	△	△	△	▲
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	○	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	▲	△	△	△	△	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物	△	△	△	△	△	△
	電気工事	○	△	△	△	▲	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	▲	△	△	△	△	△
運輸業	木造建築	○	△	○	△	△	△
	貨物運送(県域)	▲	○	▲	△	△	△
	軽運送	△	△	△	△	△	△
その他の非製造業	貸植木業	△	△	△	▲	▲	▲

凡例	○ ⇒	[増加]、[上昇]、[好転]
	△ ⇒	[不変]
	▲ ⇒	[減少]、[下降]、[悪化]